

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
05303小坂町	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	地域学校協働本部と学校の協働活動について、学期毎の反省や改善点が十分に活かされていない。	本部会議や交流会、研修会に学校関係者が出席できるよう調整し開催した。	学校ボランティア交流会へ校長、統括教頭に出席いただきお互いの立場での双方向での意見を出し合い地域学校協働本部の理解を深めた。 推進員会議には学校関係者が出席出来るように日程調整を行った。	推進員活動に対し学校の理解が深まっていないように感じる、お互いの理解を深め活動を推進させる。	地域学校協働本部 推進会議 開催回数	3	回	4	3	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 学校の学期毎に開催しており最小の開催で最大の効果を出すことが出来ている	https://www.town.kosaka.akita.jp/machinososhiki/kyoikuiinkaijimukvoku/gakushushinkohan/1368.html
05303小坂町	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域学校協働本部の活動が町民や様々な団体に周知されていない。	地域学校協働本部の活動を町広報誌へ定期的に掲載するとともに学校を通じて保護者向けにボランティアのお便り配布を行った	保護者など今まで周知が不十分であった方々への周知を行い学校支援ボランティアの確保育成を行うと共に研修会・交流会への参加を促した。	研修会・交流会を実施し、学校と地域の相互理解を深める。	研修会・交流会数	4	回	4	4	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 推進員、学校関係者、学校ボランティアとの熟議を通じて個別や共通の問題の洗い出しや活動における改善点を学ぶことが出来ている。	https://www.town.kosaka.akita.jp/machinososhiki/kyoikuiinkaijimukvoku/gakushushinkohan/1368.html